

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	サンキ・ウエルビィ株式会社	代表者	並木 寛	法人・事業所の特徴	「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」という企業理念のもと、地域包括ケアの中のセイフティネットを目指し、泊り・通い・訪問のサービスを十二分に活かし柔軟な対応で工夫しながらその人らしい生活の維持ができるよう努力している。毎月の研修や意見交換を行いサービスや質の向上を目指している。
事業所名	サンキ・ウエルビィ小規模多機能センター大崎	管理者	瀬島 由美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	現状の課題を事業所全体で話し合う時間を設け、全体で情報共有していく。	勤務時間も異なり、報告・連絡・相談が十分できないことがあった。	職員全体での評価ができていて良かった。他者との交流が困難な今の状況で、この内容で評価していくのは疑問だ。	現状の課題を事業所全体で話し合いそれぞれの考えや実践、捉え方の違いなどしっかりすり合わせができるよう進めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様にとって安心安全の場所作りを行い、楽しい時間を過ごしていただく。	事業所内で夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・ひな祭り等四季折々のイベントが開催できた。季節を感じられるようなレクができた。	コロナ対策のため実際に事業所を訪れることもできなかった為よくわからない。	ご利用者とスタッフと一緒に四季折々の行事を開催し楽しい時間を過ごす。
C. 事業所と地域のかかわり	地域交流を通じて地域の方々に事業所を知っていただけるように努める。	コロナウイルス感染拡大予防のため関りができなかった。	コロナ対策として施設も家族・地域もかかわりを最小限にしていたため地域とのかかわりは出来ない状態で致し方ない。	公民館との連携を行い協働の行事など実施していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の社会資源を知り、活用できるように努める。	コロナ対策のため地域行事への参加は出来なかった。	このような状況の為、地域との交流やボランティアの受け入れは困難でしょうがこんな時こそ職員の笑顔が宝です。	地域の社会資源を知り、活用できるように努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方や、行政の方からの意見を聞く機会をできるだけ持ち、情報共有していく。	コロナウイルス感染拡大防止のため資料配布にて皆様よりご意見・助言をいただいた。	コロナ対策のため参加できなかった。地域の介護相談の拠点になってほしい。	地域の方や・行政の方からの意見を聞く機会をできるだけ持ち、情報共有していきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	地域防災訓練に参加する。事業所の防災訓練を案内し地域や家族に参加を促す。	8月・3月に避難訓練実施 コロナ対策のため地域の方に声掛けは出来なかった。	災害時・避難拠点となって頂ければ心強い。	地域の防災訓練に参加する。事業所の防災訓練を案内し地域や家族に参加を促す。